

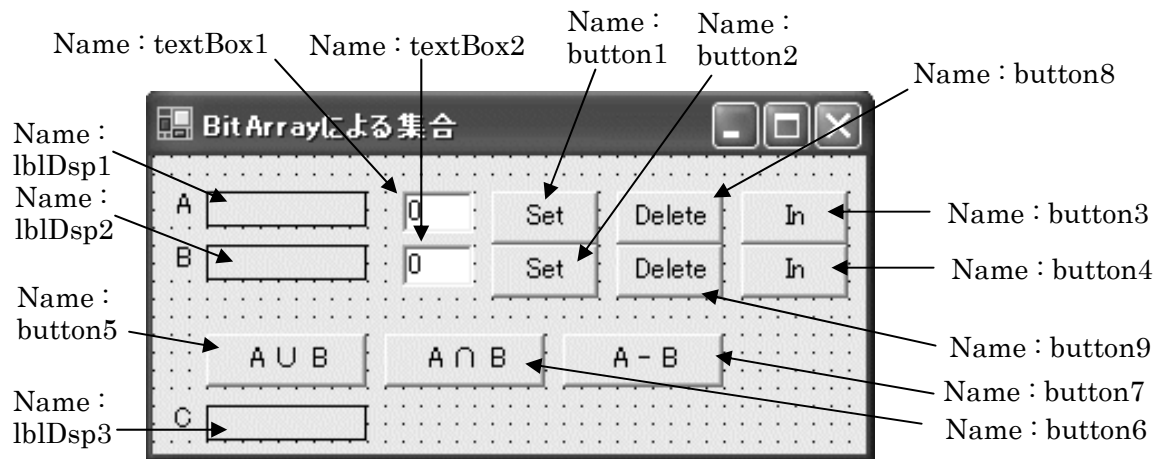
```
BitArray A = (BitArray) B.Clone();
```

集合演算は、`BitArray` の演算子である `Or`, `And`, `Not` を使って実装することができます。

```
BitArray A, B;
BitArray C = A And B; BitArray D = A Or B;
BitArray E = A And (Not B);
```

[Program 7-2] ビットベクトルによる集合演算確認用プログラム

(配置するコントロールが多いので、名前をまちがえないようにしましょう)



【確認用プログラムの操作方法】

本プログラムの操作は若干複雑ですので、操作方法を説明しておきます。プログラムでは、2つの集合を `A`(`lblDsp1` に表示), `B`(`lblDsp2` に表示) とし、集合演算の結果 `C` を `lblDsp3` に表示します。ビットは `button1`, `button2` で設定し、`button8`, `button9` でクリアします。

① ビット位置の On/Off

`A` のビットを `On` にするには、`textBox1` にビット位置を `0~9` の範囲で指定し、`button1` をクリックします。`Off` にするには `button8` をクリックします。結果は、`lblDsp1` に反映されます。

`B` のビットを `On` にするには、`textBox2` にビット位置を指定し、`button2` をクリックします。`Off` にするには `button9` をクリックします。結果は、`lblDsp2` に反映されます。